

2019年度第2回 施設指導員研修会開催要綱

1. 目的 障害者支援施設の事業者・職員は、「親なきあと」問題については地域生活支援、グループホーム整備などに取り組まれています。

また、一方で「親なきあと」どうしたいのか、どのような問題があるのか、親の元気なうちに準備することなどについて家族、親と具体的に相談する時間がなかなか取れないのが現状ではないでしょうか。親なきあとでも障がい者が経済的にも自立して生きていくためには課題は多岐にわたります。

そこで、本研修会では上記の問題について「親なきあと」金銭的にはどんな課題があるのかを中心に専門家からの話を聞き、事業者・職員としての視点、課題を学びます。

2. テーマ 「障害者の【親なきあと問題】における金銭的問題について考える。」

3. 主催 岐阜県障害福祉事業所連絡会
社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会・セルフ支援センター

4. 期 日 令和2年2月15日（土）

5. 会 場 不二羽島文化センター 201会議室
〒501-6244 羽島市竹鼻町丸の内6-7

6. 対 象 者 ①岐阜県内の障害者支援施設の役員、職員、利用者と家族
②障害福祉に関心のある方

定員80名

7. 日 程

時間帯	内容
12:50~13:20	受付
13:20~13:30	開会・オリエンテーション
13:30~15:30	講演「専門用語を使わない！！障がいのある子の『親なきあと』の『お金』の話～親として「行動」したこと「サキヨミ」すべきこと～」 講師 一般社団法人日本相続知財センター本部・札幌 専務理事 相続知財鑑定士・相続診断士 鹿内 幸四朗 氏
15:30~	閉会

8. 参加方法 別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、事務局あて FAX または郵送してください。

9. 申込み期限 令和2年2月3日(月)

10. 参加費 無料

11. 講師紹介 一般社団法人日本相続知財センター本部・札幌 専務理事
相続知財鑑定士・相続診断士

鹿内 幸四朗氏

親なきあと問題のみならず、相続対策の専門家として、セミナー受講者は全国に3万人を超えており、『専門用語を使わない』セミナーとカウンセリングには定評がある。『争族・あらそうぞく』にならないための『相続の予防医学』を全国に広めている。

障がい者の『親なきあと』を支援する小冊子『親心の記録』を寄贈する活動は、累計で34万部を突破。

ダウン症の娘16歳の父親でもある。北海道出身。東京都在住。

12. 申込先 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会・セルフ支援センター(担当:飯田)
〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉農業会館
TEL 058-273-1111(内線2526) / FAX 058-275-4888

13. その他 ・受講決定通知等は発行しません

14. 個人情報の取扱い 「参加申込書」に記載いただいた個人情報につきましては、事務局(岐阜県障害福祉事業所連絡会、岐阜県社会福祉協議会)において、参加申込、参加管理等研修会運営に必要な範囲内で利用させていただきます。

15. 会場案内 不二羽島文化センター 201会議室
(羽島市竹鼻町丸の内6-7)

※名鉄羽島市役所前駅より徒歩12分、名鉄竹鼻駅より徒歩10分



セルプ

2019年度第2回 施設指導員研修会参加申込書
(令和2年2月15日開催)

① 記入者

施設名・団体名	
所在地等	〒 — TEL () — FAX () —
担当者氏名	

② 参加者

No	ふりがな 参加者氏名	役職・職種	備考
1			
2			
3			
4			
5			

送信先:058-275-4888

岐阜県セルプ支援センター

※切:令和2年2月3日(月)必着